

The Steelcase logo is rendered in a large, white, sans-serif font. The background features a subtle, repeating pattern of small, light-blue triangles that form a larger, abstract shape behind the logo.

Steelcase

100年の歴史 先駆的なデザイン

オフィス家具にテクノロジーを取り入れる
快適なオフィス環境づくり
この瞬間から
健康的なオフィスライフの実践

会社概要

1912年アメリカ・ミシガン州のグランドラピッツで誕生したオフィス家具メーカー、Steelcase（スチールケース）。

包括的な製品展開で「働く」「学習する」スペースの創造を目指し、人間の能力を最大限に発揮できるように開発された家具、テクノロジー関連製品やサービスを提供することで業界をリードしています。

Steelcaseは、働く環境に関する継続的な研究と豊富な知識により、自宅にワークスペースを設ける際の選択肢として、お客様より多大な信頼をいただいています。



グローバル・ポジショニング

WorkLife
Centers

Manufacturing Facilities

Business Centers

Learning +
Innovation
Centers

Distribution Centers



同業他社におけるマーケットポジショニング(\$ in billions)

Annual Revenue (fiscal year 2020)

Global Market



**Only office furniture segments included

Steelcaseについて

Steelcaseは、108年以上に人間の能力を最大限に発揮できるように開発された建築、家具、テクノロジー関連製品やサービスを提供することで最上のワーク体験を創出することで業界をリードしています。

Steelcase®、Coalesse®、Designtex®、Turnstone®、Grado、m.a.d、OrangeBox、AMQ™などの包括的で強固なブランドポートフォリオを持ち、パートナーと協力して質の高い空間をデザインしています。

環境保全は創業当初からの企業DNAとして根づいています。サステナビリティに関する全ての意思決定と行動は社会的、経済的、環境的の3つの側面から適切に評価され遂行されています。当社は「人」と「地球」のために最善を尽くしています。



1912

創業年

16

製造拠点数

1,700+

特許取得数（全世界）

12,000+

従業員数（全世界）

800+

販売代理店数
（全世界）

110,000+

過去5年間の案件取引数

37億ドル

年間売上高（会計年度2020年）

No.1

世界市場でのランク



オフィス チェア



Series 1



Series 2



Think



Leap



Gesture



Karman

Series 1

(スチールケース・シリーズ・ワン)

あらゆるユーザーのニーズに応える新クラスのワークチェア

調節可能な ランバーサポート搭載 LIVEBACK® (ライブバック) テクノロジー

背もたれはユーザーの背骨を真似てカタチを変えながら動き、1日中しっかりと姿勢を支えます。また、背もたれに内蔵されたフレクサー機構は姿勢の変化に追従し、腰椎周辺を継続的にサポートします。

体重感知機構

座面は体重や身体の動きに合わせて素早く、直感的にカタチを変えます。

キャスター

床のタイプによってキャスターのチョイスが可能。仕上げ材がストーン、ウッド、ラミネート、リノリウムなどのハードフロアの場合はソフトキャスター、カーペットなどの場合はハードキャスターが適しています。

ヘッドレスト (オプション)

4D アジャスタブルアーム

ユーザーの体型や嗜好にあわせて、上下、前後、左右、角度（首振り）の4方向に合わせて動くことで、手首や腕を支え、首や肩の緊張を緩和します。また、カンチレバー型アームデザインが姿勢の変化を促します。

適応力の高いボルスター

座面クッションの中に埋め込まれた高い適応力を持つ補強材が身体の形状をとらえ、姿勢を変えるたびに身体の動きを的確にフォローします。

座面奥行き

座面は前後にスライドさせることができ、長時間にわたる快適な座り心地を約束します。



Series 1

(スチールケース・シリーズ・ワン)

あらゆるユーザーのニーズに応える新クラスのワークチェア

多彩なチョイス

Series 1では、多彩に組み合わせが可能な11種類のミックス・アンド・マッチニット張り地、フレクサー、ランバー、シェルなどの仕上げを豊富に用意。企業ブランドに合わせた演出が可能です。さらに、標準タイプ、スツールタイプ、ヘッドレストやコートハンガーオプションなど、幅広い嗜好やワークスタイルをサポートします。

製品タイプ



仕様

背もたれ	3Dマイクロニット 布・革張り地	アーム	高さ/幅/角度/奥行き調節 高さ調節のみ アームレス	その他の オプション	アジャスタブルヘッドレスト コートハンガー ポリッシュドアルミベース ハード又はソフトキャスター
------	---------------------	-----	----------------------------------	---------------	---

仕上げ・張り地

フレーム



ニット張り地とランバー/フレクサー仕上げ



11種類の3Dマイクロニット張り地とランバー/フレクサー用プラスチックを取り揃えています。他の張り地に関する詳細は下記をご覧ください。
www.steelcase.com/asia-en/resources/surface-materials/

サイズと調節範囲

奥行き	533.4mm - 603.25mm
幅	596.9mm - 685.8mm
高さ	チェア：927.1mm - 1047.75mm スツール：1073.15mm - 1397mm
座面奥行き	469.9mm
座面機構部奥行き	400.05mm - 457.2mm
座面幅	487.68mm
床からの座面高さ	チェア：419.1mm - 546.1mm スツール：647.7mm - 901.7mm
座面からの背もたれ高さ	546.1mm
背もたれランバー高さ	165.1mm - 222.25mm
アーム間の距離	406.4mm - 508mm (349.25mm - 755.65mm 首振り含む)
床からのアーム高さ	596.9mm - 819.15mm
座面からのアーム高さ	165.1mm - 292.1mm
アームキャップ角度範囲	+/- 40°
座面と背もたれの間の角度	100° - 124°
シートパン角度	2°

Series 2

(スチールケース・シリーズ・ツー)
より豊富なチョイス + 高度なパフォーマンス

Air LiveBack

Air LiveBack™ (エア・ライブバック) 機構は、革新的な幾何学模様と相まってこれまで以上に高性能なサポート力を実現しました。透明感のある波型模様は、ムレにくく通気性にも優れ、伸縮しながら背骨や身体の動きに追従し、快適なホールド感を生み出しました。

背もたれ反力機構

体重感知機構は、座った際に体重や身体の動きを感知しながら適切な人間工学的サポートを提供します。さらにユーザーの好みに合わせた反力調整やリクライニングする際に座面と背もたれが連動して動くことで究極の座り心地をもたらします。

キャスター

床のタイプによってキャスターのチョイスが可能。仕上げ材がストーン、ウッド、ラミネート、リノリウムなどのハードフロアの場合はソフトキャスター、カーペットなどの場合はハードキャスターが適しています。

4Dアジャスタブルアーム

アームは高さ、幅、奥行、角度（首振り）の4方向に調節が可能。異なる作業で姿勢が変わっても的確に手首や腕を支え、首や肩の緊張を緩和します。リクライニングする際もアームは作業面と平行のままなので作業を快適に続行できます。

高さ調節付ランバーサポート

腰のカーブに合わせて快適なポジションを維持しながら腰と背中をさらにしっかりと支えます（オプション）。

ダイナミックな座面設計

座面クッションの中に埋め込まれた高い適応力を持つ補強材が身体の形状を捉え、快適さをもたらします。座面の奥行も身体の位置に合わせて調整でき、柔軟性のある座面エッジは身体を動かしやすいように設計されています。



Series 2

(スチールケース・シリーズ・ツー)

より豊富なチョイス + 高度なパフォーマンス

豊富なチョイスから自分スタイルを演出

革新的な幾何学模様を特長とする背もたれ（エアバック）は、張り地の有無をチョイスでき、張り地は標準ファブリックとキルティングの2種類、または多彩なカラーが魅力の3Dマイクロニットとの自在な組み合わせも可能です。標準高のタスクチェアとスツールチェアのラインナップに加え、オプションのヘッドレストやコートハンガーがさらなる快適性や利便性を提供します。

背もたれスタイル



プラスチックエアバック



3Dマイクロニット



標準ファブリック



キルティング



背面ファブリックカバー

アクセサリ



ヘッドレスト



コートハンガー

仕上げ・張り地

プラスチックエアバックと3Dマイクロニットは、各19色という豊富なカラーから自在に組み合わせが可能、さらに3種のフレーム仕上げをご用意しています。

Think

より洗練されたデザイン性

統合ライブバックシステム

背もたれのフレクサーが背骨の自然なカタチにそって連結しながら動き、背中全体の動きに追従します

デュアルエネジーランバー

内蔵されたスプリングによって姿勢を変えるたびに腰部に適切なサポートを提供します。

コンフォートダイヤル

たった1つのダイヤルで下記の4つのポジションを確保できます：

- アップライトバックロック
- ミッドストップリクライニング
- 体重感知機構付きフルリクライニング（20%増）
- 体重感知機構付きフルリクライニング

座面奥行き

座面は前後にスライドさせることができ、長時間にわたる快適な座り心地を約束します。

ヘッドレスト (オプション)

アジャスタブルアーム

ユーザーの体型や嗜好にあわせて、4方向に動きます：上下、前後、左右、角度

適応力の高いボルスター

座面クッションの中に埋め込まれた高い適応力を持つ補強材が身体の形状をとらえ、姿勢を変えるたびに身体の動きを的確にフォローします

フレックスシートエッジ

座面のエッジが曲がるため、前傾、後傾の姿勢をとった際に生じる大腿部裏側への圧迫を緩和します

キャスター



Think

スマート。シンプル。サステナブル。

あらゆるシーンで活躍するチェア

Thinkはコラボレーションから集中ワークまであらゆるシーンでご使用いただけます。タスク、スツールの両タイプを用意し、作業内容や仕事のタイプに関わらず、継続的な快適性とサポート力を提供し、今日のワークプレイスのニーズに柔軟に対応します。

250万

再生材を新たに採用したことでCO2排出量を劇的に削減することに成功しました。アメリカだけでもその削減は走行距離250万マイル、世界を1年に100回旅行したことに匹敵します。

出典：Think Environmental Impact Results 環境への影響結果

より前進した サステナブルデザイン

発売当時、Thinkは業界に新たな基準を打ち立て、サステナブルデザインのアイコン的プロダクトとして賞讃されました。Cradle-to-Cradle（ゆりかごからゆりかごへ）認証やe3 BIFMA基準のレベル3認証を受けた世界初のプロダクトです。刷新された新Thinkはこのサステナブルデザインを更に前進させました。人間工学的性能を高めることに加え、チェアの重量の3分の1までの再生材を使用するなど、サステナビリティ戦略をより発展させました。

製品タイプ



背3Dニット
+ 座張り地
(チェア)



背・座張り地
(チェア)



背3Dニット
+ 座張り地
(スツール)



背・座張り地
(スツール)

サイズ

	チェア	スツール
奥行き	559 - 616 mm	559 - 616 mm
幅	724 mm	724 mm
高さ	947 - 1067 mm	1118 - 1366 mm
座面高さ	419.5 - 546.5 mm	571.5 - 825.5 mm
座面奥行き	394 - 458 mm	394 - 458 mm
座面幅	515 mm	515 mm
座面からのランバー高さ	153 - 261 mm	153 - 261 mm
座面からのアーム高さ	178 - 279.5 mm	178 - 279.5 mm
アーム間の距離	356 - 540 mm	356 - 540 mm
アームキャップ角度範囲	30°	30°
アームキャップ奥行き	77 mm	77mm

Leap

(リープ)

卓越した調節機能を備えるリープチェア

ランバーサポート

背もたれサポートの付加機能。両サイドのつまみを掴み、上下にスライドさせると、個々の背の下部のカーブにあわせた快適なポジションを確保できます。

背もたれ下部強度調節

座面横のダイヤルを前方に回すと背もたれの強度が強くなり、後方に回すと強度を弱めることができます。

座面高さ調節

座面を上げるには腰を座面から浮かせた状態で座面下のレバーを引き上げてください。座面を下げるには腰をかけた状態でレバーを引き上げてください。

バリエアブルバックストップ

リクライニングする際の角度を5段階で調節することができます。つまみが水平な状態でフルリクライニングできます。

ヘッドレスト

(オプション)

肘高さ/幅/奥行き/角度調節

アームキャップ下のつまみを押しながらアームを上下、アームキャップを掴んで左右、前後にスライドおよび首振りできます。肘は身体になるべく近づけ、手首をまっすぐにすることが理想的です。

座面奥行調節

座面前下のレバーを掴んで前後にスライドさせることで座面の奥行きを調節でき、離すとロックされます。背中を背もたれにつけた際に、膝の後ろと座面の縁の間が5-7センチほど空くことが理想的です。

背もたれ上部反力調節

座面下のダイヤルを前方に回すと背もたれの反力が強くなり、後方に回すと反力を弱めることができます。

キャスター



Leap

(リープ)

卓越した調節機能を備えるリープチェア

「座る」ことを支えるテクノロジーとそのソリューション

Steelcaseは、ユーザー主体の製品デザインプロセスを基本としており、そのデザインの一貫として継続的なユーザー調査を実施しています。Leapはそのアイコンプロダクトとして医学的な観点からグローバルに調査が行われ、今までの常識を変える4つの発見を導きだしています。その発見から革新的なコンセプトとソリューションとなる独自のテクノロジーが生み出され、Leapをイスの常識を超えるダイナミックで柔軟性の高いプロダクトとして誕生させました。

SOLUTION 1+2

フレキシブルな背もたれ

Leapの柔軟性のある背もたれの上部と下部は背骨の動きと同じように別々な動きをします。まるでそれは背骨のように動き、どんな姿勢でもしっかりと一日中あなたを支えます。



SOLUTION 4

ナチュラルグライドシステム

ナチュラルグライドシステムは、リクライニングする際に骨盤を前に滑らせる機能です。この自然な動きがリクライニング時に脊椎にかかる負荷を軽減させます。また、座面のフレックスシートエッジは前傾姿勢の際に座面の前方エッジが曲がり、大腿部への圧迫を和らげています。

SOLUTION 3

背もたれの上部下部の個別コントロール機能

Leapはどんな体格のユーザーもフルでサポートするために下部の腰椎部分をしっかりと支える強度と上部の胸部エリアを支える反力が別々に調節できるように設計されています。

ランバーテンション

背もたれの下部はしっかりとあなたの背骨の下部を支え、腰椎部分の自然なカーブを維持しながらもイスの中で自由に動く余裕を与えています。

胸部テンション

背もたれの上部は他の部分がユーザーの体重を支えているのに対して、ユーザーが快適にリクライニングし、身体をチェアに身を任せながら動くことを可能にしています。

Leapがもたらすメリットとは？

1年間にもおよぶユーザー調査からLeapとトレーニングを受けた人の

生産性が**17.8%向上**

したことが実証されています。
詳細は「Leapの生産性と健康への影響に関する研究レポート」をご参照ください。

1.

背骨は1つのユニットとして動かない。姿勢を変える際に背骨の上部と下部は別々の動きをします。背もたれにもたれると背骨の上位は後方に動こうとし、下位は前方に弓なりに動こうとします。

2.

背骨のカタチと動きは一人ひとり異なる。手相が個々に違うように座るときの背骨の動きは一人ひとり異なり、一日を通してさまざまな姿勢をするたびに背骨は変化します。



3.

背骨の上部と下部では必要なサポートの量と種類が異なる。背中の下部は一定のサポートを求めるのに対して、背中の上部はリクライニング姿勢をとるに従い、必要なサポート量が増えます。



4.

背をリクライニングさせると骨盤は前に動こうとする。座りながらリクライニング姿勢をとると骨盤は背骨の自然なSカーブを保つように前に動きます。



Gesture

(ジェスチャー)

今日のテクノロジーとユーザーをつなぐ世界初のチェア。

3DLiveBack™

背もたれは放射線状、横、ねじれなどあらゆる姿勢の動きにも柔軟に対応し、常に背中を継続的に支えます。

コアイコライザー

座面は背もたれと連結し、あらゆるリクライニング姿勢でも常に腰椎部に最適なサポートを提供します。

背もたれ強度

リクライニングする際の背もたれの強度が調節できます。つまみを手前にまわすことで反力を強め、後ろに回すことで反力を緩めることができます。

座面奥行

奥行きを広くするには座ったまま、つまみを手前に回し、狭くするには後ろに回してください。

座面高さ

座面を上げるには腰を座面から浮かせた状態でレバーを引き上げ、下げるには腰をかけた状態でレバーを引き上げてください。

キャスター

床のタイプによってキャスターのチョイスが可能。仕上げ材がストーン、ウッド、ラミネート、リノリウムなどのハードフロアの場合はソフトキャスター、カーペットなどの場合はハードキャスターが適しています。

ヘッドレスト

(オプション)

360アーム

肘部はアームキャップ下のレバーをつまみながら、360度に動かすことが可能なので、どんな姿勢でも腕を継続的にサポートします。アームキャップはスライドさせるだけであらゆる角度に動き、調節できます。

フレックスエッジ

座面の柔らかなエッジによって快適性が隔々にまで考慮されています。



Gesture

(ジェスチャー)

今日のテクノロジーとユーザーをつなぐ世界初のチェア。

デザインストーリー

私たちは仕事をしている際の人体を徹底的に把握するために、世界6大陸、2,000人もの人々のさまざまな姿勢を観察するというグローバルレベルの研究調査を実施しました。

私たちが発見したこと—新たなテクノロジーの登場は新たな行動を伴い、結果として9つの座位姿勢を生み出しました。しかし、それらの姿勢は従来のチェアでは適切にサポートされていないことが分かりました。

テクノロジーは生産性を向上させる一方で、身体の痛みを生み出し、結果として人々は集中力を欠き、その創造性をも阻害されているのです。

そして、私たちは今日のテクノロジーと同じくらいに先進的で、むしろテクノロジーを助長させるチェアがデザインできないか考えたのです。

座位姿勢におけるグローバルな研究調査

新たに登場した座位姿勢

9

対象大陸

6

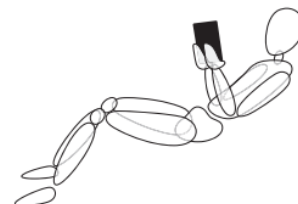
調査対象人数

2,000+

コクーン型



ドロー型



スマート・リーン型



テキスト型



スワイプ型



ルチ・デバイス型



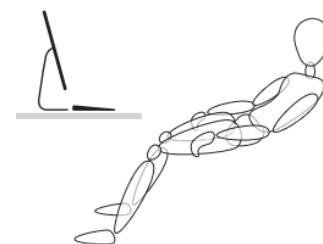
トランス型



ストランチ型



テイク・イン型



共有

I/共有

タッチダウンスペース
アंकレイブ

WE/共有

トレーニングルーム
コラボレーションスペース

I/所有

内勤者用執務デスク
個室

WE/所有

プロジェクトチームスペース
共有プロジェクトスペース

所有

WE

人体を知りつくして 生まれたチェア GESTURE

テクノロジーは革新的な推進力となって人々の仕事、生活、行動の仕方を目まぐるしく変化させています。新しいマルチデバイスの登場によって仕事でも作業の間をシームレスに快適に行き来できるようになりました。



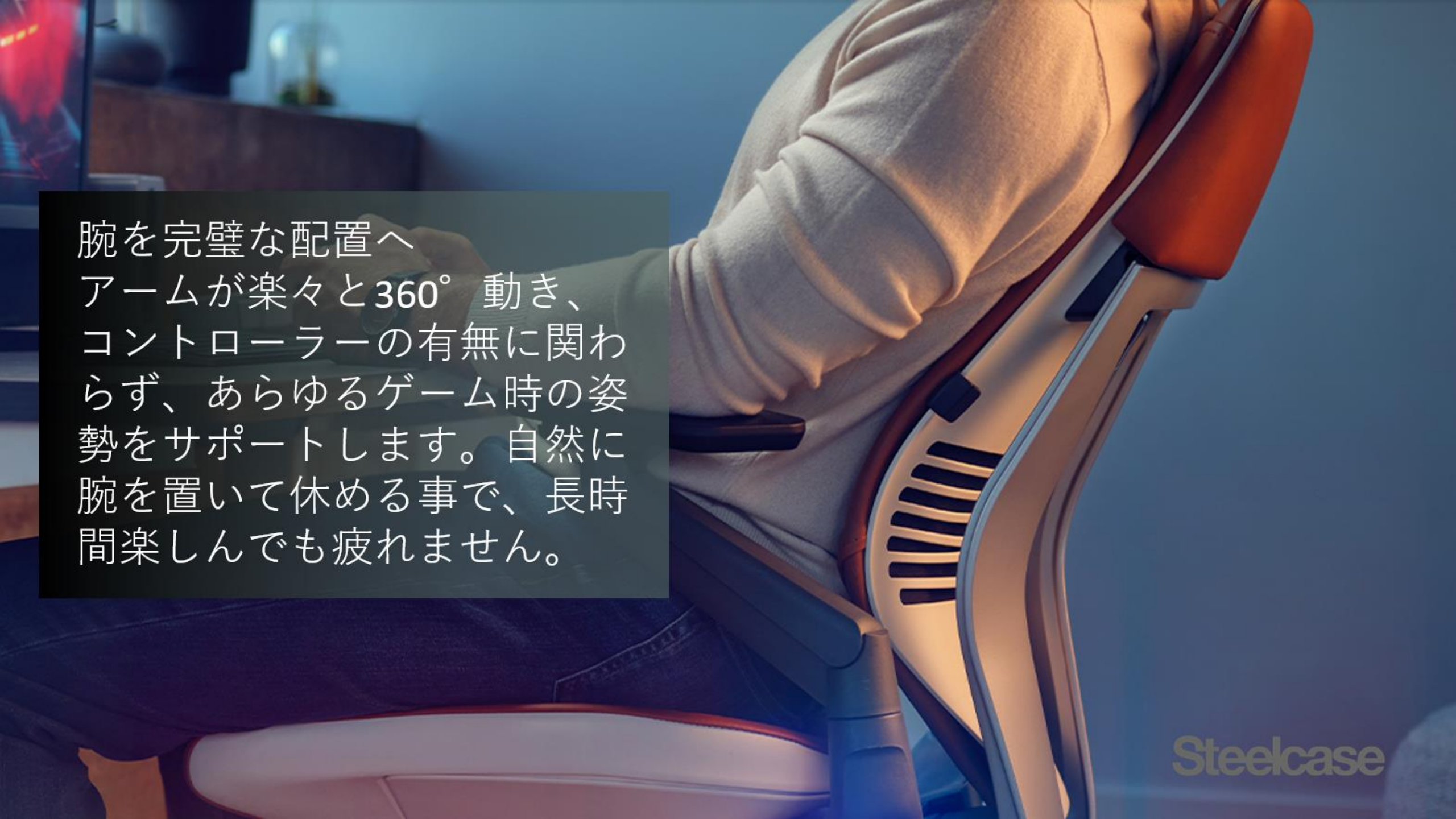
Gesture（ジェスチャー）は今日の新たなテクノロジーを考慮して開発された世界初のチェア。

人体の自然な動きを研究しつくし、これからの新しい働き方や健康的な座り方を強力にサポートします。




首と頭をリラックス
一体型のヘッドレストが首への負担を軽減します。通常のヘッドレストとは異なり、垂直方向に動き、前方に傾き、**90°** 回転します。

Steelcase

A close-up, side-view photograph of a person sitting in a modern, high-back gaming chair. The person's right arm is resting comfortably on the chair's adjustable armrest, which is positioned at a 90-degree angle. The chair features a white frame with orange accents on the headrest and armrests. The background is softly blurred, showing a desk with a monitor and some ambient lighting.


腕を完璧な配置へ
アームが楽々と360°動き、
コントローラーの有無に関わ
らず、あらゆるゲーム時の姿
勢をサポートします。自然に
腕を置いて休める事で、長時
間楽しんでも疲れません。

Steelcase



圧迫感のない座り心地
座面下のエアポケットによっ
て様々な体系に適応したボル
スターが体重を分散し、圧迫
感のない座り心地を実現しま
す。

Steelcase



背中動きをサポート
3Dライブバックテクノロジーにより、背もたれが背骨と同じように動き、サポートを犠牲にする事なく動きを促します。

Steelcase

Karman

(カーマン)

快適さを超えて、メッシュのその先へ

Steelcase Karman

開発コンセプトのキーワードは、宇宙空間と大気圏の境界線「カーマンライン」。
ラインを超えた先に広がる無重力空間へのあくなき探究心。
Steelcase Karman (カーマン) の根底にあるのはこの限界に挑戦するパイオニア精神です。

Beyond Comfort.
Beyond Mesh.

快適さを超えて、メッシュのその先へ

人に寄り添う21世紀型デザインと業界随一のエルゴノミクスが結集。従来のメッシュチェアをしのぐ究極な座り心地と持続可能なシステムを実現しました。

革新的な開発ストーリー



Steelcase®

INTERMIX カラーバリエーション

Intermix Shift (2色) Intermix (4色)



Intermix Opaque (7色)



PAINT カラーバリエーション

Paint/Lux Coating (10色)



大胆なカラーの組み合わせ

新素材 INTERMIXを独自開発
ー メッシュを凌駕する先進性

革新的織り方によって、澄んだ色やくすんだ色、真新しさや華やぎを与えるフレッシュなカラー展開が可能になりました。



Karman

(カーマン)

快適さを超えて、メッシュのその先へ

究極な快適さの理由



ハイブリッドシート [特許取得]

他に類を見ない特許取得済みハイブリッドシートは、座っている間中、身体を包み込むようにホールドします。超軽量の流線形フレームは柔軟にしなり、メッシュチェアによく見られる身体への圧迫を緩和します。



しなるエッジ

超軽量の流線形フレームはエッジがしなやかに曲がり、大腿部裏側や背中への圧迫を緩和します。



INTERMIX (インターミックス)

Shrinx (シュリンクス) [特許取得] 技術を採用。人間工学に基づいた理想的なサポートを実現する織物製法により、座面と背もたれに体重を均等に分散させ、体の動きに合わせてたわみ、身体ラインにフィットします。



有機的な動き

体重感知メカニズムによって、座る人の体重に合わせて反力が自動的に調整され、姿勢が変わるたびにチェアが滑らかに追従します。



4Dアーム

上下、左右、前後、首振りで動くアーム。姿勢が変わっても的確に手首や腕を支え、首や肩の緊張を和らげます。



コンフォートダイヤル

たったひとつのコンフォートダイヤルで好みにあう4つのリクライニングポジションと反力を設定できます。



ライブバック

体重を分散しながら背中と背骨の自然なカタチと動きに追従することで極上のフィット感を実現します。

責任ある製品設計

地球の健康を念頭にした製品設計を柱に持続可能な新素材と必要最小限のコンポーネントを使用し、頑丈ながらも重さはわずか13kg。当社の脱炭素化に向けた包括的なサステナビリティ戦略に沿った少ない資源利用で地球環境への影響を最小限に抑えています。

<https://jp.steelcase.com/products/steelcase-karman>



Coming Soon

近日公開の製品 (TBD)

Edvi



Karman



Migration SE Pro



Esports & Sponsorship

Eスポーツ & スポンサーシップ
Singapore



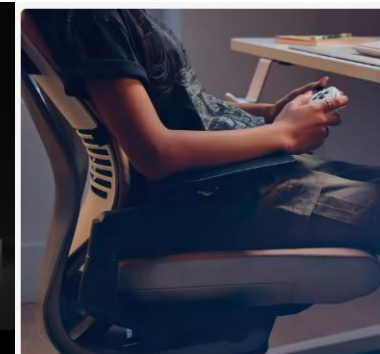
Singapore:
DOTA 2

https://www.youtube.com/watch?v=aNZE9lZBkis&ab_channel=TeamSMG

Esports & Sponsorship

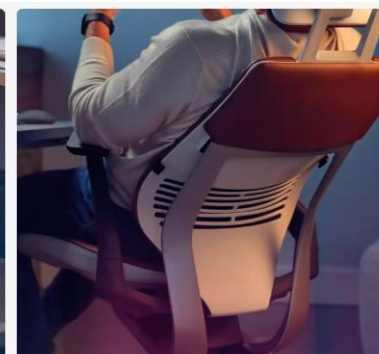
Eスポーツ & スポンサーシップ
Japan
ONLINE

Japan: League of Legends Japan 2023年のLJL公式サプライヤー



圧迫感のない座り心地

座面下のエアポケットによって様々な体系に適応したポリスターが体重を分散し、圧迫感のない座り心地を実現します。



背中の動きをサポート

3Dライブバックテクノロジーにより、背もたれが背骨と同じように動き、サポートを犠牲にする事なく動きを促します。

<https://jp.steelcase.com/pages/ljl>

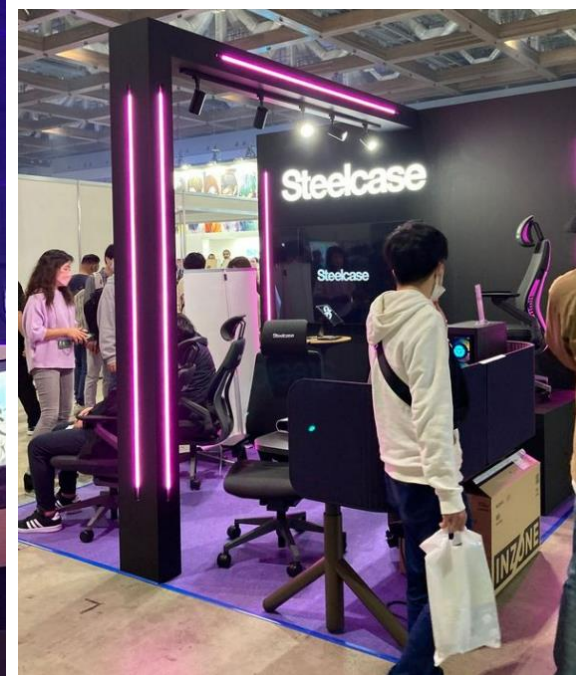
Esports & Sponsorship

Eスポーツ & スポンサーシップ
Japan
OFFLINE

Japan:
EVO Japan 2023に公式チェアとして参加



EVO Japan 2023はSteelcaseを協賛として迎え、公式チェアのご提供が決定しました！EVO Japan 2023のオフィシャルチェア、Gestureのご紹介です！Gestureは、長時間座る人の為のワークチェアです。他にはない高性能な技術で、一日中（夜通し）ゲームをしていても疲れを感じさせない一脚。



Esports & Sponsorship

Eスポーツ & スポンサーシップ
Japan
OFFLINE

Japan:

Dreamhack Japan 2023
R6イベントのスポンサー



『レインボーシックス シーズ』の日本代表チームとアジア地域からの招待チームが出場する「R6S Dream Showdown 2023」が開催！決勝戦は5月13日（土）に幕張メッセで開催される「DreamHack Japan 2023 Supported by GALLERIA」にて日本チームと招待チームが対戦します。

